



5類移行後の対応

施設長 小川内秀樹



新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の5類に分類され、一カ月が経つ。社会一般の向き合い方は徐々に変化。分類上、危険性が最も低いということになるが、罹患すれば与える影響となると、最も低いとは到底言えない。対応の基本的考え方というような説明書きは、至る所で見受けられるが、高齢者がおられる実際の介護現場では、入所施設も在宅サービスであっても、説明書通りの筋書きに収まることはいないと実感する。罹患すれば、症状は重い方もおり、基礎疾患にも影響を与えたり、入院期間が延びれば、心も体も廃用性に繋がる。一方では、一命をとりとめる事がどんなに感謝なことか実感する。やはり油断はできないのだ。私たちの施設は、昨年一年間の間に四回の集団発生対応をしてきた。入居者様の延べ入院期間は、二四七日間。療養期間は、四六六日間にのなる。それは、世界が感染対策に強化してきた時期の中の事であり、現在はそうではないということだ。その意味において、医療や介護施設の置かれている今の境遇は、これまでよりも厳しい。

六月のボランティア

協力牧師の方々(日曜礼拝)※現在、感染対策の為、ボランティア様の受け入れを中止しています。



(NO415) 特別養護老人ホーム 筑波キングス・ガーデン 0297(24)5139



中島泰江様の紹介

中島健二様(次男)

昭和二十一年十二月十一日生まれの七十六歳です。昔は手先が器用で、よく手芸とかをしてました。パートをしながら二人の息子を育ててくれました。母が六十を過ぎた頃、軽度の脳梗塞を患い、元々足腰が弱かった為、脳梗塞を機に、自宅でも歩行器生活、介護が必要な生活になり私が主となり介護をしていました。今は亡き祖父の母の時にもある程度の介護はしていたので、自分自身出来ると思っていました。母の介護は想像を超える大変さ辛さもありました。

そんな時鬼怒川決壊の水害に遭い、自宅も大規模浸水になり、自宅をリフォームしている間、母がキングスガーデン様にお世話になり、半月後リフォームが完成し母も戻ってきたのですが、足腰の状態が更に悪化し、車椅子生活になって、それでも母の介護を続けていました。しかし自分も体調を崩してしまひ、母の介護をする事が難しくなつてしまひ、当初は悩ましましたがその時にキングスガーデン様に入所させて頂く事が出来て大変感謝しております。当時母の介護は大変でしたがそれは今は、良い思い出と振り返ります。コロナ禍もあつた為、面会等もできない時もありましたが、これからは孫を連れて面会に行けたらと思います。

今、改めてお世話になっている職員さんの方々には生活を介助して頂いて感謝の気持ちで一杯です。これからもよくお願ひ致します。

旬の野菜 トマトとポテトの食卓会

特養ヘルパー主任 野田望

六月九日、虹の架け橋ユニットで、トマトとポテトの食卓会を行いました。管理栄養士、作業療法士を中心に計画し、ユニット職員も加わり、楽しい集いとなりました。

利用者の中には、職員の手を借りて、上手にトマトを包丁で切る方もいました。想像以上の見事な、包丁さばきに、思わず職員から、歓声が上がります。気になるお味の方は、真っ赤なトマトはフルーツのように甘く、「美味しかったです。」と報告してくれる、利用者もいました。ポテトも、ホクホクと食べやすく「食べたら元気が出た。」と仰る、利用者もいました。

旬の食材を食べる集いでしたが、「食」の楽しみをテーマに、また、イベントを企画したいと思えます。準備をして下さった、栄養士さん、作業療法士さん、ありがとうございました。

※ホームページ掲載中



わ~ 真っ赤だね!

これぐらい 簡単、簡単

小さな運動会

憩いの汀ヘルパー 神山一真

五月十九日、虹の架け橋リビング、憩いの汀リビングに分かれて、ささやかな運動会を開催しました。コロナ禍の前に行われていたような、大規模な運動会は行えませんが、その代わり、ユニットでの、手作りの運動会を、楽しむ事が出来ました。虹の架け橋では、的当てゲームを開催。施設長も加わり、利用者と職員で、賑やかに行いました。憩いの汀では、玉入れを開催。利用者のために、職員が背負子(しよこ)を背負い、どれだけ入れられるか、挑戦です。理事長も参加していただき、利用者からは「もう一回」とリクエスト。皆さんのキラキラとした、笑顔が印象的でした。

コロナウイルスの影響を受けて、イベントも縮小傾向になりましたが、小さくても、今回のように楽しいイベントを、今後も行っていきます。



玉入れ対決!



的当て合戦!



閉会の祈り



見事、入賞です

運動会



「笑顔と声掛け」 野田望
介護職の世界では、「声掛け」と聞くかどうか、利用者への声掛けを、連想してしまう事が多い。しかし、時折、利用者側から、職員へ声を掛けていただけの事もある。私も、疲れた時、悩んでいた時に、不意に、利用者から「いや、感謝の言葉が多い、思わず笑ってしまった、心が和らぐ事が、今までも何度もあった。ある女性利用者の方に、帰りに挨拶「また、明日、来ますね。」手を握ると、ニコニコ笑顔で「お世話様、私、動けないから、面倒かどうね。いつも、ありがとうね。気を付けて帰って。」私は、その時に、救われたような、報われたような、不思議な思いが湧いて来て、この方が持つ純粋な優しさ、人への思いやる心に、その光に、照らされる思いだった。自分、は、周囲の人へ感謝し、優しくお年寄りから学ぶ出来事だった。



笑顔満点



玉入れ~!!

【編集後記】
ジメジメとした、梅雨の時期。体調管理が大切。美味しい食事と十分な睡眠で、乗り切りましょう!
6月ほほえみ担当 神山・藤井

ホームページ

六月

四月・十日・廿五日
六月・八日・十五日・廿九日
九月
二十一日
二十七日

日曜礼拝
ジヤスミン理髪サロニス
カスミ線染美容
お楽しみクッキー
大生風販売
お楽しみクッキー
防災訓練

七月

二月・九日・十六日・二十三日
六月・十日・十七日・廿四日
七月・一日・八日・十五日・廿二日
二十七日

日曜礼拝
ジヤスミン理髪サロニス
カスミ線染美容
お楽しみクッキー
大生風販売
お楽しみクッキー
防災訓練

6月の誕生者

笠原 こ様 (九十二歳)

自然の力
理事長兼総合施設長 宇都宮和子

台風の影響で日本中が水害に不安を覚えている6月。ふと8年前の常総市鬼怒川の決壊を思い出します。あれから地震や水に敏感になり緊張しておりますが、コロナウイルスが続き、忘れられない頃に、自然の力が動き出します。海外では竜巻や強風で火災が発生し、留める事の難しさに突き当たっています。

いざという時、思うように動けない高齢者や障がい者の方々に、お預かりしていると、日々「訓練」しても、緊急時の対応に不安を覚えます。そればかりでは、幸いこのキングスガーデンは周囲より少し高台にあるので水の不安は少ないが、地震の時は心配です。安全確認にもう少し事業所毎、連携を取るトレーニングをしなければと思っております。通勤途中に見る、小さな苗も20センチ程伸び、風に吹かれて緑に輝いています。無事、成長することを祈るばかりです。